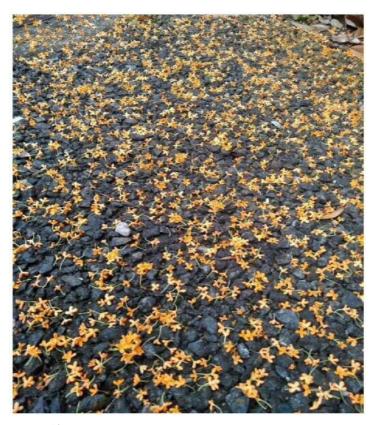
1 1 月号

水辺のふるさとかりつしか

自然環境レポーター通信



題名 : 花香る道

撮影場所:新宿

写 真 提 供 : R Y U さ ん

水辺のふるさとかつしか 1 1 月号

目 次

1	区内で見られる55種の	動植物		P 1 ~ 4
2	自由レポート	(調査区1)	弥生さくら草さん	P 5
			市原 みずよさん	P 6
		(調査区3)	荒井 敏夫さん	P7~8
			RYUさん	P 9
			Rさん	P 1 0
			藤並 剛さん	P 1 1
		(調査区5)	K. Nさん	P 1 2
			佐々木 定治さん	P13~14
			鳥好き植木職人さん	P 1 5
3	魚からの便り―243‥	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	P16~17
4	今月の 1 枚・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	P18~20
5	資源・エネルギーチェッ	ク票の報告結果	1	P 2 1

―編集担当より―



来年4月より「アリゲーターガー」という魚が特定外来生物に指定される。少し前にニュースで話題になった、名古屋城の外堀に住みついているワニのような見た目の魚である。

北米原産のこの魚の稚魚は15センチとかわいらしいものの、大きくなると3メートルにもなる巨大魚である。特徴としてはワニのようなフォルム、鋭い牙が並ぶ大きな口と全身を覆う硬い鱗である。この見た目は1億年前の地層から出てきた化石でもほぼ姿が変わっていないとされている。つまり恐竜が生活していたその前よりアリゲーターガーの種は生きていたことになるのだ。

現在は東京、大阪、兵庫の川などでも見つかっており根絶は容易ではない。人にかみつく等と恐れられていた時もあったが性格は臆病で、北米でも襲われた人はいないそうだ。また、釣り上げて食べる人もいて、鶏の胸肉に似ているという。

(斉藤)

日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	コアジサシ ツバメ オオヨシキリ コガモ ツグミ ウグイス コサギ								1 :				_ : :	:_		時期・特徴など
野 3 才 5 以 6 元 7 二 8 才 10 5 11 点 12 万 13 才 15 力	オオヨシキリ コガモ ツグミ ウグイス							ll								上旬・中旬・下旬/
4 = 5 ツ 6 パ 7 = 8 ガ 9 = 10 シ 11 コ 12 ブ 13 オ 足 14 コ 15 ガ	コガモ ツグミ ウグイス													1		上旬·中旬·下旬/
4 = 5 以 6 点 7 = 8 次 9 = 10 シ 11 点 12 万 13 才 日 15 力	ツグミ ウグイス															上旬・中旬・下旬/
6	ウグイス						10							5		上旬·中旬·下旬/
7 = 8 が 9 = 10 を 11 は 12 で 13 が 15 が																上旬・中旬・下旬/
鳥 9 = 10 シ 11 d 12 フ 13 オ 昆 14 コ 15 オ	コサギ	1														上旬・中旬・下旬/
8 月 9 二 10 5 11 日 12 月 13 月 足 14 日		1					2							8		上旬中旬下旬/
10 シ 11 コ 12 ブ 13 オ 昆 14 コ 15 オ	カワセミ													7		上旬(中旬・下旬/
11 3 12 7 13 7 14 1 15 力	コゲラ													6		上旬中旬で旬/
12 7 13 才 昆 14 コ 15 力	シジュウカラ	多				7					1			多		上旬中旬、下旬/
13 オ 昆 14 コ 15 オ	ギンヤンマ	1											2	1		上旬中旬下旬/
昆 14 コ 15 カ	アキアカネ	1	多	1		3	2					1	2	2		上旬 中旬 下旬/
15 ナ	オオカマキリ	3				多								4		上旬・中旬・下旬/
	エンマコオロギ	多		3 2		多								2		上旬 中旬・下旬/
	カンタン	多												多		上旬·仲旬·下旬/
16 	トノサマバッタ											1		1		上旬中旬・下旬/
17 ク	クマゼミ													多		上旬·中旬·下旬/
18 7	アブラゼミ	1												1		上旬中旬・下旬/
19 "	ツクツクボウシ	1												4		上旬·中旬·下旬/
20	ミンミンゼミ	1												1		上旬·中旬·下旬/
21 =	ニイニイゼミ	1												1		上旬·仲旬·下旬/
22 7	ヤマトタマムシ													1		上旬·中旬·下旬/
23	ナガサキアゲハ	2												3		上旬中旬・下旬/
24 5	クロアゲハ	2												2		上旬·中旬·下旬/
虫 25 プ	ナミアゲハ	3		4			1							4		上旬中旬下旬/
26 7	テングチョウ													1		上旬·中旬·下旬/
27 "	- 4	4		1				1						4		上旬·中旬·下旬/
28 7	ツマグロヒョウモン	4		1									1	2	1	上旬·中旬·下旬/
数值·	ツマグロヒョウモン アカボシゴマダラ	3												4 :		

	į	10月 生物指標· 観察集計表	奥戸	東新小岩	西新小岩	青	東立石石	東四つ木	四片木	1 亀 [計有]	西 小 菅	堀切ち	東 記 花 茶 屋	宝门	高鎌砂倉	細田	柴親又宿	金町汽	東金町	水元	水元公園	東南西水水水元元元元	; 時期・特徴など ;
		アカメガシワ	3							多	多							多	多	7	多		上旬中旬下旬/
		スギナ	多																		多		上旬・中旬・下旬/
		ナガミヒナゲシ	1																		1		上旬・中旬・下旬/
植	32	シロツメクサ	多							多	多								多	,	多		上旬・中旬・下旬/
	33	スズメノエンドウ																					上旬・中旬・下旬/
	34	イモカタバミ	多				多			多	1										多		上旬·中旬·下旬/
	35	アレチウリ									1												上旬 中旬・下旬/
	36	セリ																			多		上旬 中旬・下旬/
	37	オオバコ	多								多										多		上旬•中旬•下旬/
	38	オオキンケイギク	1																		1		上旬・中旬・下旬/
	39	カントウヨメナ																			多		上旬•中旬•下旬/
物	40	カントウタンポポ																			多		上旬 中旬・下旬/
	41	ツユクサ	多								多										多		上旬中旬、下旬/
	42	ジュズダマ	2															1			5		上旬·中旬·下旬/
	43	ススキ				多				1							多				多		上旬・中旬・下旬/
ほ		アライグマ																					上旬•中旬•下旬/
乳	45	ハクビシン	1																				上旬•中旬•下旬/
は	46	ミシシッピアカミミガメ	多						1									多			多		上旬中旬・下旬/
虫	47	ニホンカナヘビ																			1		上旬•中旬•下旬/
両	48	ニホンアマガエル																			1		上旬•中旬•下旬/
生類	49	ニホンアカガエル																			1		上旬 中旬・下旬/
桀	50	ウシガエル																			多		上旬•中旬•下旬/
2	51	コガネグモ								1													上旬·中旬·下旬/
1 —		ジョロウグモ	4			1		1		1											多		上旬·中旬·下旬/
魚類	53	メダカ																			6		上旬・中旬・下旬/
	54	ブルーギル																			多		上旬・中旬・下旬/
底生	55	ベンケイガニ	1					2													1		上旬·中旬·下旬/
		…レポーターが確認し	た個	体数	の合	計(数えき	れな	い場	合には	よ"多'	で表	示)	上1	旬 1]~	10日	中旬	11	日~	20E	下旬	21日~30(31)日

集計人数 10名 ※ 10月の調査では、55種のうち50種が確認されました。

その他の自然観察について(本文掲載以外・敬称略)

日付	生物名	場所	調査者	個体数	事項
9/4	アオマツムシ、モンシロチョウ	奥戸1	市原みずよ	多、多	
9/4	オオスカシバ、イチモンジセセリ	奥戸1	市原みずよ	多、多	Ö
9/4	クサグモ、ムカデ、ツバメシジミ		市原みずよ	3,1,1	Ö
9/4	ウスカワマイマイ、カネタタキ	奥戸1	市原みずよ	多、多	Ö
9/4	アオバハゴロモ、ヤマトシジミ	奥戸1	市原みずよ	1,1	0
9/4	アオスジアゲハ、クロアゲハ		市原みずよ	1,1	Ö
9/4	アカボシゴマダラ、ゴマダラチョウ	奥戸1	市原みずよ	多、多	Ö
9/4	シロテンハナムグリ、キアゲハ		市原みずよ	1, 1	Ö
9/4	ドウガネブイブイ、アオドウガネ	奥戸1	市原みずよ	多、1	0
9/4	カンタン、エンマコオロギ	奥戸1	市原みずよ	1,1	Ŏ
9/4	シオカラトンボ、ナツアカネ	奥戸1	市原みずよ	1,1	Ö
9/4	スズメバチ、ハラビロカマキリ	奥戸1	市原みずよ	3, 1	Ö
9/4	アシナガバチ、モンキアゲハ	奥戸1	市原みずよ	2,1	Ö
9/4	ゴマダラカマキリ、ショウリョウバッタ	奥戸1	市原みずよ	1,1	Ö
9/4	カナヘビ、ヤモリ、センダイムシクイ	奥戸1	市原みずよ	1,1,1	Ö
9/4	マルバルコウソウ、ガガイモ、タマサンゴ	奥戸1	市原みずよ	1,1,1	Ŏ
9/4	エノコログサ、アキノエノコログサ	奥戸1	市原みずよ	1,1	Ö
9/4	キンノエノコログサ、ヤブガラシ	奥戸1	市原みずよ	1,1	Ö
9/4	カラスウリ、ヒメムカシヨモギ	奥戸1	市原みずよ	1,1	0
9/4	オオアレチノギク、ハキダメギグ	奥戸1	市原みずよ	1,1	Ö
9/4	メヒシバ、オヒシバ、ヒメジョオン		市原みずよ	1,1,1	Ö
9/4	ノネズミ、アブラコウモリ、マテバシイ	奥戸1	市原みずよ	1,1,1	0
9/25	キンモクセイ、スダジイ、シラカシ	奥戸1	市原みずよ	1,1,1	Ö
9/26	モズ、オナガ、スズメ、ムクドリ	奥戸1	市原みずよ	1,1,1,1	Ö
9/26	キジバト、ドバト、ハシボソガラス	奥戸1	市原みずよ	1、多、1	Ö
	ハシブトガラス	奥戸1	市原みずよ	1	Ö
	チョウセンアサガオ	亀有4	荒井 敏夫	多	Ö
10/1	ウラギンシジミ、ヒメアカタテハ	水元公園	T·K	1,3	Ö
10/1	ウスバキトンボ、ヒメクダマキモドキ	水元公園	T·K	多、3	0
10/1	アジアイトトンボ、アメリカヒロシトリ	水元公園	T·K	多、多	Ö
10/1	アカスジキンカメムシ、サツマノミダマシ	水元公園	T·K	多、1	0
	ヒヨドリ、カネタタキ、アオマツムシ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	3、多、2	Ö
	ハラオカメコオロギ、エノコログサ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	多、多	Ö
10/3	カタバミ、アキノノゲシ、メヒシバ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	多、多、多	Ö
	オヒシバ、コセンダングサ	東部地域病院(亀有5)	藤並 剛	多、多	0
	カナヘビ	青戸1	森本 龍司	1	Ö
10/7	スズメ、オナガ、ムクドリ、カネタタキ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、4、多、多	0
	ハラオカメコオロギ、キチョウ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、1	0
10/7	アカタテハ、ヒメツルシバ、ヨシ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	1、多、多	0
10/7	アキノエノコログサ、キンエノコログサ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、多	0
	アカツメクサ、セイタカアワダチソウ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、多	0
	メヒシバ、チカラシバ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、多	0
	ヨウシュヤマゴボウ、タケニグサ	亀有4	荒井 敏夫	1,1	0
	イヌタデ、ピラカンサ、オンブバッタ	亀有4	荒井 敏夫	多、1、1	0
	モズ	江戸川土手	田村 ひろ子	1	0
	オニヤンマ	江戸川土手	田村 ひろ子	1	0
10/9	ショウリョウバッタ、オンブバッタ	青戸3	森本 龍司	1,1	0
10/9	シジュウカラ、ツユクサ、エノコログサ	中川沿い	高橋 雅子	1、多、多	0
10/9	ヒヨドリ、ヤマトシジミ、ムラサキシキブ	中川沿い	高橋 雅子	5、多、多	0
10/9	スズメ、カタバミ、ハクセキレイ、ミズヒキ	中川沿い	高橋 雅子	50、多、多、多	0
	モンシロチョウ	新宿	荒井 敏夫	2	0
	アブラコウモリ	立石6	森本 龍司	2	0
	ヒヨドリ	青戸4	森本 龍司	2	0
	ヤマトシジミ	お花茶屋	RYU	1	0
	キンモクセイ、オナガ、ハクセキレイ	亀有4	荒井 敏夫	多、7、1	0
	モンシロチョウ、オオスカシバ	奥戸1	市原 みずよ	1,2	0
	イチモンジセセリ、オニグモ、クサグモ	奥戸1	市原 みずよ	1,1,1	0
	ウスカワマイマイ、ムカデ、カネタタキ	奥戸1	市原みずよ	多、2、多	0
	アオマツムシ、ヤマトシジミ	奥戸1	市原 みずよ	1、多	0
	ツバメシジミ、キアゲハ、クロアゲハ	奥戸1	市原 みずよ	2,1,1	0
	アオスジアゲハ、ナガサキアゲハ	奥戸1	市原 みずよ	3,1	0
	クサギカメムシ、ヒメアカタテハ	奥戸1	市原 みずよ	7,3	0
10/20	ウスバキトンボ、アシナガバチ	奥戸1	市原 みずよ	2,3	0

10/20	スズメバチ、ハラオカメコオロギ	奥戸1	市原 みずよ	3,5	0
10/20	ハラビロカマキリ、ショウリョウバッタ	奥戸1	市原 みずよ	2,8	0
10/20	ヤモリ、モズ、オナガ、スズメ、ムクドリ	奥戸1	市原 みずよ	1、1、多、多	0
10/20	キジバト、ドバト、ハシボソガラス	奥戸1	市原 みずよ	3、多、多	0
	ハシブトガラス、ビンズイ	奥戸1	市原 みずよ	2、1	0
	ヒドリガモ、オオバン、ゴイサギ	中川	市原 みずよ	4,3,4	Ö
,	ヒナタイノコヅチ、イヌタデ、カニクサ	奥戸1	市原みずよ	3、多、多	Ö
	エノコログサ、アキノエノコログサ		市原みずよ	多、多	Ö
	キンエノコログサ、ヤブガラシ、カラスウリ		市原みずよ	多、多、多	
			市原みずよ	多、多	
	ハキダメギク、メヒシバ、オヒシバ	<u> </u>	市原みずよ	多、多、多	
	ヒメジョオン、コミカンソウ、ミズヒキソウ		市原みずよ	多、多、多 多、多、6	
				3、3、0	
10/20	マメアサガオ、セイヨウタンポポ	<u>奥戸1</u>	市原みずよ		0
	コニシキソウ、オオニシキソウ	<u>奥戸1</u>	市原みずよ	多、多	0
	マルバツユクサ、アブラコウモリ	奥戸1	市原みずよ	1,5	0
	キンモクセイ、スダジイ、マテバシイ	奥戸1	市原みずよ	多、多、多	0
	シラカシ、アメリカハナミズキ	<u> </u>	市原 みずよ	多、多	0
	モッコク、ハナクサギ、イチョウ	奥戸1	市原 みずよ	多、多、多	0
	ニホンアズマヒキガエル	青戸7	森本 龍司	1	0
	スズメ、コガネグモ	亀有4	荒井 敏夫	20、1	0
10/23	ヤブガラシ、ナミテントウ、エノコログサ	中川沿い	高橋 雅子	多、2、多	0
10/23	ヘクソカズラ、カタバミ、セイヨウタンポポ	中川沿い	高橋 雅子	1、多、多	0
10/23	ヒヨドリ、オナガ、カワウ、スズメ	中川沿い	高橋 雅子	多、多、1、多	0
10/23	ハクセキレイ、カワラバト	中川沿い	高橋 雅子	2,2	0
10/23	キジバト、ヤマトシジミ	中川沿い	高橋 雅子	3、多	0
10/23	ヒヨドリ、スズメ、シジュウカラ	中川沿い	高橋 雅子	多、多、1	0
10/23	ヒドリガモ、ハクセキレイ、オオバン	中川沿い	高橋 雅子	多、多、多	0
	カルガモ、オナガ、ハシビロガモ	中川沿い	高橋 雅子	多、多、5	0
	モンシロチョウ、ツバメシジミ、アオサギ	中川沿い	高橋 雅子	1、多、多	Ö
10/23	ダイサギ、コサギ	中川沿い	高橋 雅子	多、2	Ō
10/24	ヒヨドリ、ムクドリ、オナガ、キジバト	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、多、2、3	Ō
	カネタタキ、ツヅレサセコオロギ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、多	Ö
	アキアカネ、オギ、チカラシバ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	1、多、多	Ō
10/24	セイタカアワダチソウ、カタバミ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、多	0
10/26	ヒヨドリ	お花茶屋	RYU	1	0
10/27	クサシギ	小菅荒川船着場	石鍋 壽一	2	0
	ヒメアカタテハ、ヨメナ	水元公園	石鍋 壽一	1,5~10	0
	ミズヒキ、ヒメガマ		石鍋 壽一	2,5	Ö
	マガモ、ハト、コイ	白鳥	R	2,15,5	Ö
10/28	アオサギ		森本 龍司	1	Ö
	スズメ、ヒヨドリ、ハナミズキ	東部地域病院(亀有5)	藤並剛	多、多、多	Ö
	カツラ、ケヤキ、サクラ	東部地域病院(亀有5)	藤並剛	多、多、多	
	ヤブガラシ、メヒシバ、スズメノチャヒギ	金町公園	T•T	多、多、多	0
	アキノエノコログサ、コヒルガオ		T•T	多、多、多	0
	カタバミ、セイタカアワダチソウ		T•T	多、多	0
10/31		亚門五團	1-1	シ、タ	0
					0
				<u> </u>	U

〇…確認

街を歩いてゆくとほのかな芳香が鼻腔をくすぐる、これは何の匂いだろうかと香りの源を考えて金木犀にたどり着いた。もうこんな季節になったのだ。快い芳香もほのかに漂うから好きなので、それを狭い部屋の中でむせるほどかがされたら辟易するだろう。近頃は金木犀も減ってきて以前の様には満喫しなくなってきた。

萩は増えるのを嫌って根元から切っても増える。背ばかりはどんどんと高くなる。秋以外は邪魔に思い、切り取ってもいつの間にか元のようになっているから不死身の木だ。秋の七草の頃には淡いピンク入りの可愛いい花が咲く。そうすると七草に数えられる所以の存在感を見直して、「日頃粗末にしていて済まないね」と心の中で詫びている。

ほととぎすの渋い色彩と野趣に富んだ景色は秋の花の中では女王様だろうか?それにつわぶきを並べると日本の秋を象徴する様に思える。今年も多数のほととぎすが咲き乱れた。それに気候の変化が多かった。季節外れの大型台風が度々到来し、脅かして去って行った。なんとか無事だったが罹災された方々にはお気の毒なことである。最近あちこちで地震や洪水などの災害が多い。地球も病んできたのだろうか?

今年もいよいよあと一か月に迫った。毎年悔いることばかりで過ごしてきたが、今は ただ出来るだけ健康であれば良いと思うだけである。

平成 29 年 11 月 19 日





ビンズイとモズ



大大力マキリの産の中ツリートングラングトンができないはかった。ないいない。10月9日、ツッシの中で大大力マキリの産卵に本会った。茶色の10mの大きり、送きになって卯のうき作っていた。2日後にも「Mできにも、こちらは緑色のメスとお会った。今年の別とま見ているか、続々と テカマキリが設置するのは感動が表事を楽しみに、見守っていうと思う。 く大力マキリの産卵り





一大塚の方毛の集。 コガネクモだ。 ツツジの中に朝の えに輝いている。 三つりがとはよく 見かけるかで、めずう しい。文は振りに ピンボケッ写真だ。 10月23日

荒井敏夫 亀有 調查区3

環境Jェア2017に参加して

平成12年に蒼飾区の環境しポーターになって、早か18年に成ります。 その間環境プェアでは、ガラスの生態調査、ピオトープ、環境紊計法、 生物多樣性など学人で発表には来ませれば、今年もした一分手作りのパネル 1年間の治動、55種の調査結果、今月の1枚、そこてクイズ。午前中は大勢の オでにぎめいました。ケイズは石来を重はどっち、アメリカサリガニを初め多くの 海宝生物が身近にいます。子供達も参加、解答券Kはモニターかってった 生きものシール、もプロゼントレました。午前やプラスでお乳はこたあと、午後は樹林 剪定、俄博士の発表会に、モニターの徳意分野の発表を4人の方が、残念なから P.R不足か数人こかいませんでした。末年は多くの人の前でと思いけば、その後は、 /版文本洋大生の講演と観察会に参加、民虫博士の土波さんも一諸にデクノ の庭で、芝生やら、マダラスズ、シベススである。アキアカネが木に上っている、大才スカシバかで クチナシに、幼虫も葉っぱに、ムーアシロホショントウマハナンブックバネウッギ(アベリア)に アスズジラグバ、チャパネセセリ、イチモンダレセリ、バス停の大きばにジョロークモも解説 佑女生まかカタバミの妻で10円至もじからり、桜の葉の密称、クスノキ(トトロの木)など たった100米位の中に生物多様性か沢山かりまとた。東年はもっと多くの人と、 萬餘区の環境なれるも楽しんでもらいたいと思います。



ハゲネルやクイス"に、接境モニターのファスト 様はを退出を解説する土岐、昆虫博士ト



氏名	RYU	調査区	3	10 月

実りの季節





左:民家の庭先で見つけたキウイフルーツです。市販のものよりも小振りではありますが、こんなにたくさんなっていたら嬉しいでしょうね。

右:別のお宅のリンゴです。こちらは数が少なく、前回の台風で、赤くなる前の実がいくつか落ちていました。





左:ヨウシュヤマゴボウ。子供の頃はよく染料にして遊びましたが、今は毒のある植物として認知されているのでしょうか、誰もあそんでいないですね。

右:ホオズキ。これも実で遊んだ覚えがあります。歩道に穴を掘って、 鉢ごと埋められていました。





左:緑のカーテンというよりは、緑の壁です。実はたくさんなっているのに、どれも熟しています。葛飾の人はゴーヤを食べないのでしょうか。

右:収穫間近の大根です。畑の風景を見て大きくなれる子供たちが、 今後少なくなってしまうのは残念でなりません。

氏名	R	調査区	3	10 月

曳舟川親水公園生き物調査 25





秋になり、だんだんと紅 葉になっています。

公園内には、赤や黄色 と色とりどりの木が目立つよ うになりました。





カモやコイも元気に過ご しています。

カメはそろそろ冬眠に入 るので、今回は 1 匹しか見 ませんでした。





恒例の、勝手に観察 樹です。

左の写真が9月、右の 写真が10月です。

寒くなってきて、紅葉が かなり進んでいます。 氏名:藤並 剛 町名:亀有 調査区:3

10月3日(火)午後5時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は24度くらい。 亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、ヒヨドリ(3)を見つけた。昆虫は、 カネタタキ、ハラオカメコオロギ、アオマツムシ(2)を見つけた。野草は、 カタバミ、エノコログサ、アキノノゲシ、メヒシバ、オヒシバ、コセンダング サを見つけた。ハナミズキの木の実が赤くなっていた。

10月7日(土)午後4時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は20度くらい。 亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、オナガ(4)を見つけた。ムクド リは群集になって飛んでいた。昆虫は、カネタタキ、エンマコオロギ、ハラオ カメコオロギ、キチョウ(1)、アカタテハ(1)を見つけた。野草は、ヒメツ ルソバ、ヨシ、アキノエノコログサ、キンエノコロ、アカツメクサ、シロツメ クサ、セイタカアワダチソウ、メヒシバ、チカラシバを見つけた。キンモクセ イの香りは、まだ漂っていた。ハナミズキの実がたくさん見ることができた。

10月24日(火)午後3時頃、天気は曇り(風少し有)、気温15度くらい。 亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ヒヨドリ、ムクドリ、オナガ(2)、キジバト(3)を見つけた。昆虫は、カネタタキ、エンマコオロギ、ツヅレサセコオロギ、アキアカネ(1)を見つけた。野草は、セイタカアワダチソウ、ヨシ、キンエノコロ、アキノエノコログサ、アカツメクサ、オギ、シロツメクサ、チカラシバ、セイタカアワダチソウ(4)、カタバミを見つけた。柿の実、ミカンの実、ハナミズキの実、ドウダンツツジの紅葉が見られ、秋の深まりを感じた。

10月31日(火)午前7時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は12度くらい。 亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリ、シジュウカラ(5) を発見した。植物は、ハナミズキ・カツラ・ケヤキ・サクラの紅葉が始まった。 台風22号が昨日通過し、木枯らし一番が吹いた。今朝はとても寒かった。

今月も雨の日が多かった。秋雨前線の影響や台風21号・22号の接近・上陸があったためだ。月末になって、やっと晴れ間がやってきた。来月も、地域の自然と子どもを守るために精一杯頑張りたいと思う。

氏名	K·N	町名	東金町	調査区 5
自分で	指定(観察地内	の植物と	昆虫・指定種の	中心)鳥類は大橋周囲~小合溜を観察
	西洋タンポポ 小合溜周囲・:			つゆ草 10・カントウヨメナの花多数 シジミ多数
	西洋タンポポ	15・しろつ	つめ草0・つゆ	草3・カントウヨメナの花多数 ユリカモメ 0・カモ類 100 程度

- 1. 最近小合溜周囲にサギ類が少ない。その理由は不明だが公園の奥にはいるのだろうか。ユリカモメはまだ見かけないと、複数の釣り人に確認できた。カモ類は水草が枯れて沈んだため、泳ぎやすくなったのか多数いた。奥の川面にはカワウが多数いた。
- 2. 個人宅の庭にわずか 50cm 程度のアカメガシワを見たのは5年ほど前だった。 成長速度は速く、最近の目測では4メートル以上に成長している。夏のあると き花が咲いたので思わず撮影した、その一枚を季節外れだが送ってみる。 3年前「マンゴーの種」を鉢に入れたところ、芽が出てズンズン成長し、あっ というまに3メートル以上になった。わけあってきることになり根元から切り 取った。ところが直ぐに葉が出て成長する。

また、30 年以上前に知人から譲ってもらったシュロの木もしぶとく生長し 続けている。熱帯植物系は気候変動でますます強くなっていきそうだ。





自然観察レポート29年10月の巻 佐々木定治 調査区5

秋来りなば



10月4日 水元2丁目 中秋の名月



10月8日 水元3丁目 キンモクセイ



10月8日 水元2丁目 タマスダレ↑ 水元3丁目ツワブキ↓



ホトトギス 水元3丁目↓





秋の色彩は、落ち着いた日本的な色です。月も似合います。菊も似合います。菊の種類もかなりの数ですが、 大元の原産地は、中国だということです。秋の織りなす日本の自然に生物多様性を重ねて考えています。

雨空の秋かな



10月25日 水元3丁目 ススキ



セリ



メナモミ



ヤツデ



ジュズダマ



ビワ

~自然 産経新聞の朝の詩 10月30日より引用~

ただ自分の為に 生きていることが 誰かの為になっている 自然とはそういう風に できている そしてまた誰かのために 生きていることが 自分の為になっている

自然とはそういう風に できている ただ美しく そういう風に できている

※だからこそこの地球に負荷をかけすぎないように、生きることが大切だと思うのです。日本の四季が規則正しく到来することが永遠に可能であるようにと願わずはいられません。この自然が未来永劫に続くように!

氏名 鳥好き植木職人町名 西水元調査区 5主な観察場所中川左岸西水元水辺の公園~常磐線陸橋。 区内の庭得意分野野鳥及び植物レポート no 37

運搬船利用のカワウ漁!久しぶり

11 月初旬の中川、久しぶりにカワウの漁を見た。運搬船が大きな波を立てて進む航路に合わせて船の前後に数羽のカワウが舞っている。船の前に飛び込み、船が去ってから顔を出す。顔を出したカワウは飛び立ち船の前でまた飛び込む。魚が大きな波に驚き注意力が散漫になった所をカワウが捕獲する、と思われる。面白いことに直ぐ後に運搬船が来たが、こちらにはカワウの姿はない。きっと魚の動揺は二度目には効かないのかも。



鬼クルミの実が落ちる

カラスがクルミの実を自動車道路に置き轢き割らせる行為を二年前に二度見た。中川の土手を走る西水元水辺の公園の付近の自動車道路。その時、本当にクルミかな?どこにクルミがあるのかな?と思っていた。その疑問を友達に話したら、土手にクルミの木が沢山あるよ、との事。確かにあった。「鬼胡桃」の木。水辺に沢山ある。大きな木を良く見ると 10 月に実を付けていた。そして最近、実が熟して落ちていた。これで確信が持てた。カラスの胡桃割りは本当の事だった。



葛飾柴又新八水路 魚からの便り-243

					1 MI) 7	个人们人们叫	ボルラの区グ	2 10		
							245			
			査 目				2017/10/28		備	考
		t	也点			江戸川本流	新八水路	新八ワンド		
1	ア				그	3 162–205				
2	ゥ		グ		1	1 110				
3	オ	1		カ	ワ	12 36–116				
4	カ	マ		ツ	カ	3 70–105				
5	ギ	ン		ブ	ナ	1 73	13 22–69			
6	カ	ダ		ヤ	シ			4 16–28		
7	ク		ダ	/\	ゼ	1 2 <u>5</u>				
8	ス	ゴ	₹		⊐	2 82–83				
9	ス		ズ		+	1 543				
10	タイ	イリク	バ	ラタフ	ナゴ	2 23–53				
11	ツ	チ		フ	+	13 43–78				
12	=		ゴ		1	23 80 - 145				
13	ヌ	マ	チ	チ	ブ	7 20 – 78				
14	ブ	ル	_	ギ	ル	1 57				
15	ボ				ラ	6 67–195				
16	マ		/١		ゼ	28 66–106				
17	マ		ル		タ	5 52–96				
18	メ		ダ		カ		1 23			
19	ŧ		ツ		٦̈́	2 45–50				
-	•		計			17種類111個体	2種類14個体	1種類4個体		

- ・上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲(単位:mm)
- ・江戸川本流、新八水路、ワンドあわせて19種類129個体の魚類が採集されました。
- 「曇り時々雨」気温15.9℃、水温 本流14.4℃、新八水路11.1℃、新八ワンド16.5℃(15時頃 「測定)

【参加者コメント】

本流で200mm近いサイズのアユが久し振りに採れた。かつては完全に成熟した個体が採れ、持っただけで卵が零れ出たこともあったため、柴又の早瀬に産卵のために自ら降下していたのだろうが、浚渫後は姿か見られなくなっていた。今回は成熟少し前の成魚であったため、恐らく先週末の台風21号による増水で流下させられた個体であろう。流れの中で狙って採った人は見事だ。

新八水路の最奥部で40~60mm程度を中心にギンブナ13個体が採れた。小さい割りに痩せて老け顔だったので、今年の春に生まれて居着いている魚と推定された。『かわいそうだから本流に放しては?』との意見もあったが、自然に委せて元の水路に再放流した。無事に越冬してほしい。

台風による増水で、江戸川本流では小型の魚は岸寄りで流速が穏やかな窪んだ場所に避難 していた。しかしこういう水域にはごみも集まるため、投網を打つのは大変だった。(YK)

- ・破船のへりが出るくらいの水位でしたが、雨続きのため流速がはやく、沖に向けて網を打つのにはちょっとコツがいりました。網を自分の直上流に打つと、流された網に巻き込まれて事故になるおそれがあるし、目の細かい網では負けて魚が採れません。普段の江戸川ではあまり考えないことですが。(KI)
- ^{*}台風後だからか、カマツカが多く採れました。(MO)

HP (http://shigenori1.jimdo.com/) 【編集:一澤成典】

調査次数	~			116-127			_	3 164-175	_	_	200-211	_		236	237	238	239	240	241	242	243	244	2
年が	`		6 06年4-1		2008	2009	2010		2012	2013	2014	2015	2016						2017				
回 数•日 租		-		12回	12回	12回	12回		12回	12回	12回	12回	12回	1,28	2.11	3.20	4.22	5.13	6.10	7.8	8.12	9.23	10
漂 準 和 名\地 点	本業	本 :	本新ワ	本 新 ワ	/ 本:新:ワ			フ本新ワ	/ 本:新:ワ	本新ワ			本新ワン		本新ワン	本新ワン	本新ワン	本新ワ	本新ワ	本新り	本新ワン	本新り	
* + 11 11 (75 ////	流ハ	流しハ	流八ド	流八ド	流八ド	1 : :-	流八	ド 流 八 ド	流八片						流八ド	流八ド		流八ド	流八ド	流八ド	1 : :-	流八ド	流流
セゴ・	1			•																			
		0 0	0.0.0	0.0.0	0	0	0	0 0:	00		0	0	0	ļļļ							ļļļ		
	ı 🔵	0	Ö	0	0	0	0	0		0	0	Ö	Ö			O	Ö	0		0			0
		0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0							
	□ ● C			0	0 0	0	0	0 0	0 0 0		0	0	-								0	 	
		1	1 : :									0	0	1-1-1-			Ö				0		
ガ イ 原	貳 ●	0	O.	0	O				0	0	0	0	0							I			
	์	0 0		0 0 0		0 0	0	0	0 0		0	0 0	0	0					0	0	0	0	0
	F	• C									C	0	Ö	1 1 1							0		Ö
ツ <u>=</u>	1 ● C			000			000			0000									0		0		0
ル :: ゲ ::	タ ● C イ ●	0:0					00	0000	0 0 0		0 0 0		0 0	-					0	0	 	0	0
イ カ 「	7 ● C	0 C	000		000		000					000	0	0	O	0	O	O	0		0	0	Ö
	Z ● C		<u> </u>		0	0	. 0	0	<u> </u>	0	0	<u> 0</u>	<u> </u>								0	0	
タフ	カ ● C ノ ● C		5	0		0	0		0		0	0	0	 					 	 	l		
ン ブ フ	+ ●																						
<u>ン ブ ラ</u> ンゴロウブラ	+ • C						000							0			0		000	0 0	0 0		
ンゴロウブ ナ - M	, I — I C					0 0	10.0		0 0 0			100		 				00	 	 		 	
ン ギ	∃ ●																						
イとフナの 雑 種	イ ● C 重 ■			0.0.0	0000	0 0 0		0000	0000	000	0000	0 0 0	0 0	ļļļ				0.0	 	0	0.0	0	
1 と フ ナ の 維 f リ タ ナ =																			0				
チモンジタナニ	1 ● C																						
カヒレタビュイリクバラタナコ	ラ ● ゴ ● C		000				000	0000		0000	000	000	000	00	00	0	0		 	 	0	0	0
ž a d	• ל	C	0	0 0			00	0.0.0		[0]	0	0 0	Ö						0	0			
	<u>.</u> כ	C		4										ļļļ						 	ļļļ		
<u> </u>	∛	; -		+		+-+-+						+		 					 	 	l	 	
ルメサヨリ	J												•										
- ダ フ ダ カ ミ	カ ● C						0 0				0 0			00		0.0	00			0.0	00	0 0	2
X	5 ● C	0.0			0000	000	50	0000		000						0	0 0		0	0	0	0	0
<u> </u>																							
ムルナー	- • C		0 C	00	0	0	0	0 0	0		0	0	0				0	0	0	╂╌╂╌╂╌	0	0	0
オクチバク		o c			Ö	Ŏ.		Ö.					0 0						Ö		Ö		
<u>クチバラ</u>			0	0	0			0	. 0	0	0	0	<u> O</u>	ļļļ				0		0			
	F	0.0	<u> </u>	 		╫┉╫┉╫	•		C	4	-		0						 	 	0		0
イラ =	ř .											•											
マーチ チーラ	ブ ● C ブ ●	0.0	0 0	0.0.0	0		0 0		000		O C		0	0	-	0	O	0	0	0	0	0	
モフリシマハt								o c				0											
クラクハも	Ž					1	•		0	0	0	0											
ロダハゼ(※ シノボリ E) ● C 禹 ● C			0	0			0	000			0	0	╫┈┼┈┼┈	-				╂┈┼┈┼┈	╂╌┼╌┼╌	0	0	
リンニ		i C)			1 1 1	00		00				0					0					1
	y ● C	0 C	00	0	0	0	00			0	0	00	0	ļII					1,,,,,			ļļļ	
ミウキゴ!キゴ!(型不明	ע ●	0		10	0	0 0			0	0 0	0	000	00		 	┉╁┈╁┈╟		0	000	0.0	0	╁┈┼┈┼┈	
	ž ● C	0 C	0000	000	000	000	000	0000	000	0 0	000					0		0	0	0 0	0.0	0	0
シシロハも	ž ● C	0.0	0	0 0	0	0.0	00	0 0 C	000	0	0 0	0	0 0	ļļ		0	0	0	0	0		0	
<u>ナ ハ せ</u> 点種類数合言		10 20	1 22 10 10	20 16 20	100 10 11		5 00 44	10 00 10 1	100 40 0	1 00 10 1	1		1	4 3 3	2 3 3	7 3 2		1	1	11 6 3	H	11 3 2	2 17

争月の1被



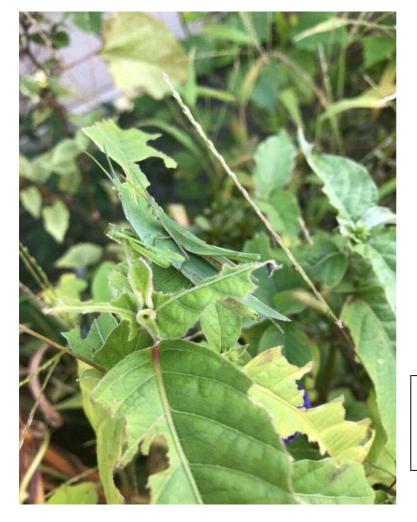
「花香る道」 29/10/11 新宿 撮影 RYUさん



「池」 29/10/28 曳舟川親水公園 撮影 Rさん



「ヤツデの花」 29/10/25 水元3 撮影 佐々木 定治さん



「オンブバッタ」 29/10/8 高砂 1 撮影 かすみ草さん



「オナガ」 29/10/3 撮影 T・Tさん



「アオサギ」 29/10/23 水元公園 撮影 高橋 雅子さん

10月 資源・エネルギーチェック票の報告結果

家族	構成	電気 エイン	<u>ガス</u> (都市ガス)	ファ ハ の刊 水道	二酸化炭素
大人	子供	Kwh × 0.42	m³ × 2.21	$\mathring{\text{m}} \times 0.2$	排出量
3	0	241.00	55.25	6.60	302.85
1	0	66.36	13.26	3.80	83.42
2	1	15.54	0.00	0.00	15.54
2	0	38.64	8.84	0.00	47.48
2	0	112.14	39.78	0.00	151.92
2	0	49.98	48.62	0.00	98.60
2	0	73.50	15.47	3.20	92.17
2	5	92.40	68.51	0.00	160.91
2	1	75.6	39.78	2.9	118.28
2	0	36.96	37.57	0.00	74.53
4	1	134.40	66.30	0.00	200.70
4	0	152.04	108.29	0.00	260.33
4	1	204.12	125.97	0.0	330.09
1	0	82.32	41.99	4.40	128.71
3	0	225.54	45.75	0.00	271.29
					0.00
					0.00
					0.00
36	9	1600.54	715.38	20.9	2336.82
平均(*	家族)	177.84	79.49	2.32	259.65
一人は の平均	あたり 匀	72.75	32.52	0.95	106.22

<10月の二酸化炭素の排出量>

*一人あたりの平均は106.22kg』です。 お出かけは、できるだけ公共の交通機関を利用しましょう。

「水辺のふるさと・かつしか」第 296号 (葛飾区 自然環境レポーター通信第248号) 平成29年12月11日 発行 葛飾区環境部環境課 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 国(3695)1111 内線3522~3 直通電話 (5654)8237 fax (5698)1538

「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。次号にて訂正いたします。